

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 農業委員会費	(細別)	番号	1
会計	一般会計	款 05 農林水産費	項 01 農業費	目 01 農業委員会費
			担当	農業委員会

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる就業空間の構築	②
	分野別計画	ゆとりと魅力ある農業・農村をめざして	
	施策	安定した農業所得の確保	

1 PLAN (計画)

事業対象（誰が・何が）	事業の意図、目的
1 町内にある農地の所有者及び耕作者	1 農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、少子高齢化による農業の担い手不足解消等
2 女性農業委員	2 女性が農業従事を積極的に行い、また女性視点で農業発展、向上することを目的とする
3	3
事務事業の概要	(業務構成)
1 農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、少子高齢化による農業の担い手不足解消等	農地の権利取得を促進するとともに、農地の利用関係を調整し、農地の農業上の利用を確保する
2 女性が農業従事を積極的に行い、また女性視点で農業発展、向上することを目的とする	球磨管内及び熊本県内の女性農業委員のネットワーク等に参加し情報収集等を行う
義務・定型業務（意図・目的の設定が困難なもの）	

2 DO (実施)

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
農地中間管理事業成立	件	31	19	30	20	150.0%	30
女性農業委員数	人	2	2	2	2	100.0%	3

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費(千円)						業務評価	
		活動指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績		R3目標
		事業費			H30決算	R1決算	R2決算		R3見込
1	農業委員会運営業務	事業費	千円	17,885	21,867	19,841	21,682	現状維持	
2		事業費	千円						
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
直接事業費の合計(千円) A				17,885	21,867	19,841	21,682		
職員人件費等		業務量(人工数)		1.90	2.30	2.30	2.30		
		人件費(千円) B		14,944	18,045	18,629	18,289		
総事業費(千円) A+B				32,829	39,912	38,470	39,971		
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金		8,361	12,696	13,172	12,546		
		分担金							
		地方債							
		その他特定財源		130	388	387	145		
一般財源				24,338	26,828	24,911	27,280		

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、少子高齢化による農業の担い手不足解消等	○概ね目標の成果が得られた
	2	女性が農業従事を積極的に行い、また女性視点で農業発展、向上することを目的とする	○概ね目標の成果が得られた
	3		
<説明> 1. 地域の話し合いを実施する予定であったが、コロナ禍により実施できなかった。 農地中間管理事業では、前年度同様の面積を貸借した。(R1:9.94ha → R2:9.90ha) 耕作放棄地対策では、遊休農地が前年度より減少した。(R1:14.9ha → R2:11.6ha) 2. 人吉球磨地域女性農業委員ネットワーク会議や研修等の参加を予定していたが、コロナ禍により積極的な活動が制約された。			
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等(地域団体、企業、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> 担い手不足解消等のため、地域の話し合いや法人化設立へ農業委員も積極的に参画すべきと考える。 本町は、県内で耕作放棄地が少ないほうだが、これ以上増やさない努力が必要である。 農地中間管理事業への取り組みは、JAからの転貸事業がなくなったことから、今後増えていくことが予想される。 人吉球磨地域女性農業委員ネットワーク会議や研修等の参加で、女性農業委員の活躍が期待される。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	農業委員会運営業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				法定業務のため、今後も継続して実施していく必要がある	
2				実施時期	
3				実施時期	
4				実施時期	

《特記事項》

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	増額	現状維持	今後、農家にとって重要なポイント制による補助制度について、農地中間管理事業への取り組みは重要な事業になってくる。H30から新たな制度での農業委員会が始まり、業務量が増えたが、3名の定数内で何とか事業を行っている。 R4は、3年に1度の農業委員先進地研修を実施するため、事業費が増額となる。

事務事業評価シート（R3実施）

あさぎり町

事務事業名	(費目) 農業者年金事業（農業者年金基金からの受託事業）	(細別)	番号	1
会計	一般会計	款 05 農林水産業費	項 01 農業費	目 02 農業者年金事務受託事業費
				担当 農業委員会

第2次総合計画 後期基本計画	基本目標	① 幸せ感じる就業空間の構築	②
	分野別計画	ゆとりと魅力ある農業・農村をめざして	
	施策	安定した農業所得の確保	

1 PLAN（計画）

事業対象（誰が・何が）	事業の意図、目的
1 農業従事者（加入対象者）	1 加入推進活動
2	2
3	3
事務事業の概要	（業務構成）
1 加入推進活動	農業者年金業務
2	
3	
義務・定型業務（意図・目的の設定が困難なもの）	

2 DO（実施）

事務事業の成果指標	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度	類似団体の実績等
		実績	実績	実績	目標	達成度	
農業者年金への新規加入事務	人	16	10	14	4	350.0%	3

番号	業務の名称 (●=実施計画業務)	活動指標・事業費（千円）						業務評価	
		活動指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標		
		事業費		H30決算	R1決算	R2決算	R3見込		
1	農業者年金業務	農業委員加入訪問件数		108	108	84	85	現状維持	
		事業費	千円	492	651	462	565		
2		事業費	千円						
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円）A				492	651	462	565	/	
職員人件費等		業務量（人工数）		0.60	0.70	0.70	0.70		
		人件費（千円）B		4,719	5,492	5,670	5,566		
総事業費（千円）A+B				5,211	6,143	6,132	6,131		
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		分担金							
		地方債							
		その他特定財源			1,669	1,730	1,643		1,478
		一般財源			3,542	4,413	4,489		4,653

3 CHECK (評価)

		項 目	判 定
事務事業 の成果	1	加入推進活動	◎目標よりも大きな成果が得られた
	2		
	3		
	<説明> 令和2年度の加入実績は目標数に対して350%達成で、熊本県で第1位を獲得しました。令和3年度は新規就農者も多いので、年金の大切さを伝えながら農業者のためになるよう加入推進にさらに力を入れていきたいと思ひます。 ※農業者年金加入実績（目標）、H29・19人（4人）、H30・16人（4人）、R1・10人（4人）R2・14人（4人）		
実施主体 の妥当性	各業務に対する町の役割、関係団体等（地域団体、企業、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する		
	<説明> 加入推進については、農業委員会が主になり行っている状況ですが、JA担当者とは日頃より情報を共有しながら、年金業務をしています。 9月の総会後には、JAと共に加入推進研修会を予定しています。		

4 今後の方向性「ACTION (改善)」

業 務 の 名 称		今後の方向性		説 明 (理由等)	
1	農業者年金業務	⑦現状維持	現行どおり実施	実施時期	
				法定業務のため、今後も継続して実施していく必要がある	
2				実施時期	
3				実施時期	
4				実施時期	
《特記事項》					

5 R4年度予算の方向性

予算の 方向性	事業費	業務量	理 由
	前年並	現状維持	あさぎり町における農業者年金の加入率は43.7%で県1位ですが、推進対象となる農業者はまだおられるので、情報収集を大切にし、毎年の推進名簿の更新を行いながら、制度説明をしっかりとできるように、農業委員と共に研修会参加も積極的にして、農業者のために今後も推進に力を入れていきたいと思ひます。また、年金受給者が支給停止とならないように農地の確認作業も大変重要なので、今後も大変重要な事業になります。